					S3	ZEB/BEMS
キーワード	Y2	機器	Z4	電力	E29	電気機械器具製造業

東芝キヤリア株式会社

高効率モジュール型空冷ヒートポンプチラー

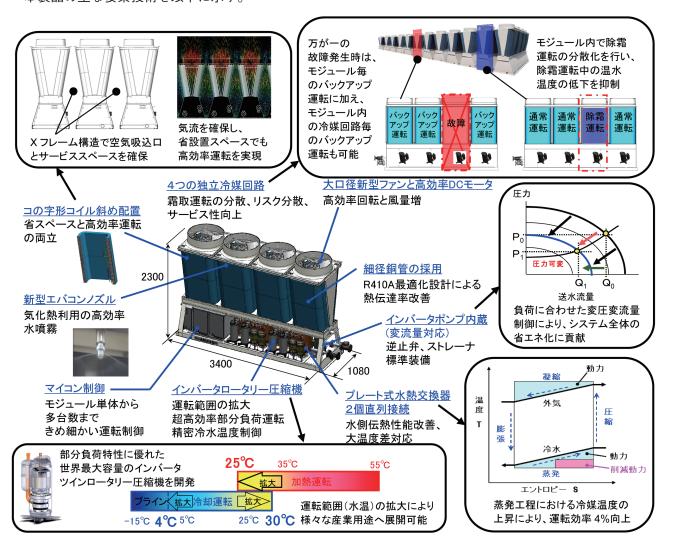
特徴

- ◆業界トップクラスの省エネ性能 世界最大容量のインバータツインロータリー圧縮機の開発などにより、一年を通して冷却運転を行なう 産業用途の場合、ガス吸収冷温水機に比べて年間使用エネルギーを 58% 削減、CO₂ 排出量を 71% 削減。
- ◆独創的なモジュール in モジュール構成でリスク分散 1 台のモジュール(チラー)を 4 つの独立した冷媒回路で構成。1 つの冷媒回路が故障停止した場合で も他の冷媒回路がバックアップで継続運転し、能力低下を抑制。また、加熱運転時に1 つの冷媒回路が 除霜運転を行なっている際、残りの冷媒回路が加熱運転を継続することにより、送水温度低下を抑制。
- ◆業界唯一のXフレーム構造で高性能化と省スペース化の両立を実現 コの字に曲げた空気熱交換器をV字に配置した独自設計のXフレーム構造により、空気熱交換面積は 拡大しつつ、製品の設置面積は15年前のチラーよりも58%低減。複数台のチラーをほぼ隙間なく並 べて設置しても、空気熱交換器への空気導入経路を確保でき、さらにメンテナンススペースも確保。
- ◆幅広い用途

全ての圧縮機、送風機、冷温水ポンプにインバータ制御を採用し、それらを搭載した複数のモジュール を最適運転する群制御システムを開発。冷温水の緻密な出口温度制御と変流量制御を実現。各種建物の 省エネ空調だけでなく、データセンターなどの対物温度調節や工場での生産プロセス温度管理まで、多 種多様な用途に利用できるとともに、生産性向上、品質安定などの課題解決にも活用可能。

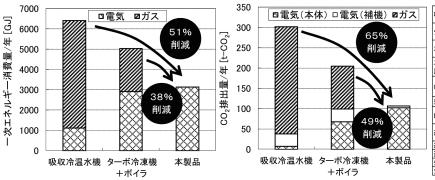
概要or原理

本製品の主な要素技術を以下に示す。



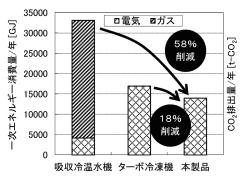
省エネ効果 & 特記事項

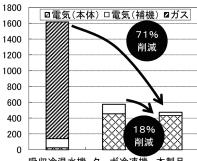
◆ 一般空調用途における一次エネルギー消費量と CO₂ 排出量の削減効果例 ガス吸収冷温水機やターボ冷凍機とボイラの組合せに比べて、夏期は冷却運転、冬期は加熱運転を行な う一般空調用途の場合でも、下図のような省エネ効果を得ることができる。



	試算条件			
本体	TAG-NL032			
補機	冷却塔・冷温水ポンプ・冷却水ポンプ			
本体	RS-C30EV(300RT相当)+ボイラ			
補機	冷却塔・冷温水ポンプ・冷却水ポンプ			
本体	12台連結			
補機	冷温水ポンプ			
電気	9.76MJ/kWh			
ガス	45MJ/m3			
電気	0.324kg/MWh			
ガス	2.23kg/Nm ³			
	800m ² (130W/m ²)			
冷房	1,020kW			
暖房	668kW			
冷房	4月~10月			
暖房	11月~3月			
	5日/週			
	14時間/日			
	アメダス東京平均(2000-2005)			
	当社設定による			
	補本補本補電ガ電ガ 冷暖冷暖の			

◆産業用途における一次エネルギー消費量と CO。排出量の削減効果例 ガス吸収冷温水機やターボ冷凍機に比べて、一年を通して冷却運転を行なう産業用途の場合でも、下図 のような省エネ効果を得ることができる。







吸収冷温水機 ターボ冷凍機 本製品

◆ 受賞実績

平成 23 年度 省エネ大賞 経済産業大臣賞 電気科学技術奨励会 奨励賞 平成 23 年度

平成 23 年度 日本冷凍空調学会 技術賞 平成 25 年度 地球温暖化防止活動 環境大臣賞

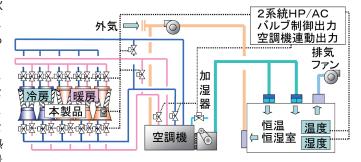
平成 26 年度 韓国消費者市民団体 Energy Winner Award

導入実績または予定

国内 高効率運転やリスク分散などのモジュール型空冷ヒートポンプチラーのメリットが市場に受け入れ られ、これまでにシリーズ全体で 24,000 台以上が出荷され、国内トップシェアを誇る。電気機器 製造業(山形県)、工作機器製造業(兵庫県)、輸送機器製造業(愛知県)、機械部品製造業(新潟県)、

電子部品製造業(岐阜県)、老人ホーム(秋 田県)、データセンター(東京都)など、 1,800 社以上の事業者への納入実績があ

一例として、恒温恒湿空調において、 CO。排出量削減のため、ボイラの利用を 削減したい場合には、右図に示すように、 1つのモジュール群の中で冷房と暖房を 混在させる運転を行なうことで完全な熱 源転換が可能。これにより、CO₂排出量 削減のみならず、維持管理が簡素化。



海外 平成 26 年より本格的に韓国向け輸出を開始し、病院やホテルなど約 20 台の納入実績あり。それ 以外にも、アジアや欧州などの日系企業向けを中心に海外展開を拡大中。

東芝キヤリア株式会社 商品企画部 コンタクト先

電 話:044-331-7414

URL: http://www.toshiba-carrier.co.jp/